

木で0.8~2.7kg(平均1.0~1.5kg)であつて、大  
王松の約半分以下である。

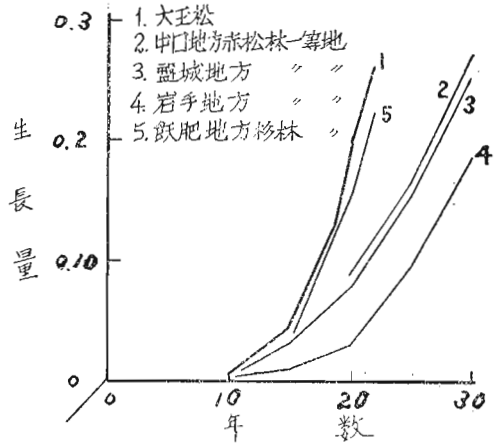
造林的価値

米国の用途は広く建築、床板、車輛、造船、枕木、  
橋梁、室内裝飾材となり極めて重宝な材とされている。  
比重0.502g/cm<sup>3</sup>、曲げ弾性係数142ton/cm<sup>2</sup>、曲  
げ破壊係数1010kg/cm<sup>2</sup>、(いずれも繊維平行方向)引  
張強度26kg/cm<sup>2</sup>(繊維直角方向)で黒松に比し、い  
づれも優り松類中最も優秀なる材といわれている。尤  
もこの樹は、苗木時代に Damping off 或は Brown  
Spot の被害があるので養苗に、かなり周到な注意を  
要する。

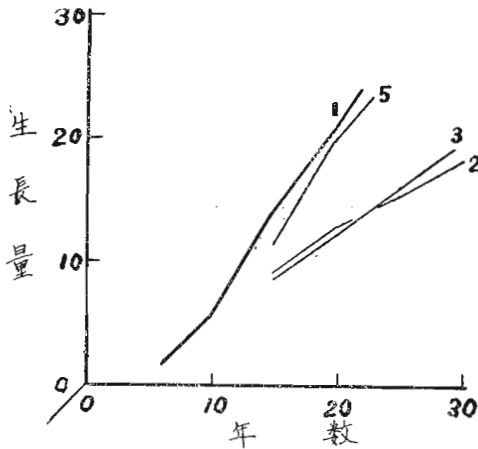
元來大王松は天然分布地域の気候より見て温暖適潤  
地を好み本邦では、西南日本特に九州地方は造林可能  
である。即ち九州地方は原産地とほぼ同緯度で雨量は  
やや過量なるも、気温はやや(2~3°C)不足気味であ  
るが、これは雨量豊富によつて自然と馴化されて行く

ことと思われる。各地え試植を乞うものである。  
(終りに重松教授の教示に対し謝意を表す。)

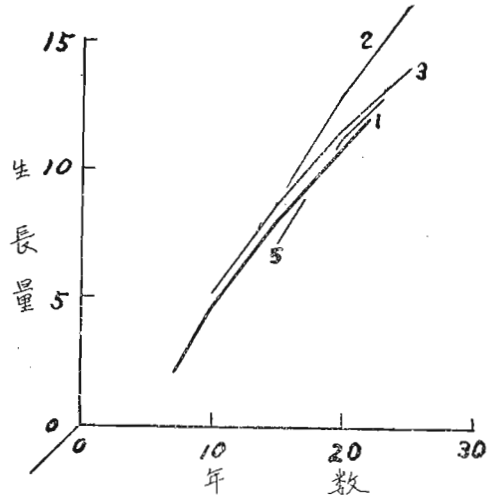
第1図 幹材積総生長



第2図 胸高直径総生長



第3図 樹高生長



はらいがわ杉について (抄録)

鹿屋営林署 柿 木 司

終戦前後から、南九州地方の杉林には、「すぎたま  
ばえ」が蔓延して、杉の生育が阻害されておるのは勿  
論、優良な杉挿穂の採取に困難を来して、杉造林上に  
一大脅威を来しておる時、被害の中心地、鹿屋市の山  
地に於て、この害虫の被害を受けない、「はらいがわ

すぎ」を発見したことは、杉造林上の福音といわねば  
ならない。

2, 3年来、精英樹選抜が熱心に行われているが、  
専ら生長量の大なるものを、選抜する事に主力が注が  
れているが、病虫害に対する抵抗性や、瘠悪乾燥地等

にも、良く生育する種類を発見する事も、肝要な事である。幸い私は、26年9月7日、鹿屋市内に於て、この「はらいがわすぎ」を発見したので、これを報告する。

この杉の植林せられておるのは、鹿屋市被川町地区と、高隈村の一部で、現在の造林面積は数町歩に過ぎない。

この杉の特徴は、

- (1) 「すぎたまばえ」の被害を受けない事
- (2) 枝葉及びクロネーが非常に美しい事
- (3) 生育が比較的良好なること

この杉は最初、鹿屋市被川町の、故小林助右工門氏が、明治初年に植栽したもので、原木は既に伐採されて、腐朽した根株のみが残っているが、第2代目以降の造林地が出来ている。

この杉の原産地と、系統は如何なるものが、今迄はつきりしなかつたが、本年9月27日、吉野林業地の視察に行つた時、吉野杉と殆んど同じものである事が判

つた。

今迄我々が、実生杉の不良造林地を、吉野杉と呼んでいたのは、間違であるから、今後は、実生不良杉を、吉野杉と呼ぶ事は改めねばならない。

この杉は、元「すけえもん黒」と呼んでいたが、色々大きな特徴が発見されたので、今後大いに普及増殖を図る意味に於いて、新しく「はらいがわすぎ」と命名したものである。

この杉の平均生長量は、10m<sup>3</sup>内外で、樹幹析解の結果は、めあさ、はんぐろ杉よりも、相当良好である。

27年度以降、鹿屋営林署では、この杉の増殖に全力を注ぎ、又民間にも奨励している。

鹿屋営林署では、28年4月の愛林日に当り、小林大郎吉、小林袖吉氏に、感謝状と記念品を贈呈したが、その後鹿兒島県及び、全国山林復興大会に於いても表彰を受けた。

## 鹿 兒 島 県 に お け る 精 英 樹 選 抜

鹿 兒 島 県 林 業 試 験 場      石      川      道      治

鹿兒島県においては28年度以来県林務部及び林業試験場において、スギの精英樹選抜を実施しているが試験場で選抜したものに優秀と認められるものを数本発見したので本県にもこの程度のものがあることをお知

らせて参考に供したい。先づ選抜に当つて精英樹としての基準を決めるために本県のスギ品種と成長量を考慮する必要があるので、この点を概略申し上げる。本県民有林スギの大半は挿木によつて増殖したメアサ

第 1 表    混 植 地 の 平 均 成 長 量 の 比 較 表

種類別	メアサ (A)	ハングロ (B)	差 (A-B)	N	u <sup>2</sup>	u	to	分散比 $\frac{(ub)^2}{(ua)^2} = F$
メアサと ハングロ混植林	直径 0.62cm	1.16	0.54	5	0.0144	0.120	10.174...	
全林平均	樹高 0.42m	0.57	0.15	5	0.0055	0.074	4.333 ..	
〃	材積 0.011 m <sup>3</sup>	0.040	0.029	5	0.000065	0.0081	7.989 ..	
〃	直径 0.79cm	1.23	0.44	5	0.0455	0.214	5.221 ..	
三大木平均	樹高 0.46m	0.58	0.12	5	0.0046	0.068	4.141 ..	
〃	材積 0.018 m <sup>3</sup>	0.045	0.027	5	0.000029	0.0054	11.304...	
	メアサ	オビアカ	差	N	u <sup>2</sup>	u	to	
メアサ オビアカ混植林	直径 0.69cm	1.16	0.47	5	0.0128	0.113	9.221...	
全林平均	樹高 0.51m	0.67	0.16	5	0.0028	0.053	6.162 ..	
〃	材積 0.013 m <sup>3</sup>	0.044	0.031	5	0.0135	0.116	5.767 ..	
〃	直径 0.91cm	1.25	0.34	5	0.0056	0.075	10.315...	
三大木平均	樹高 0.57m	0.68	0.11	5	0.0012	0.035	6.599 ..	
〃	材積 0.024 m <sup>3</sup>	0.050	0.026	5	0.000066	0.0081	7.095 ..	

備考:  $u^2 = \frac{1}{N-1} \sum (X - \bar{x})^2$      $to = \frac{\bar{x}}{u} \sqrt{N}$      $to. 0.1 = 4.604$  (df=4)     $to. 0.01 = 8.610$      $to. 0.05 = 2.776$